

(様式1)

学校図書館の活性化実践事業推進地域の取組

推進地域名	いわき市教育委員会（平地区）
推進協力校名	平第一小学校 平第三小学校 平第五小学校 平第三中学校

学校司書を活用した学校図書館の機能充実

取組の内容

いわき市では、平成25年度より「学校司書設置事業」として、学校図書館の「読書センター」「学習・情報センター」的機能の充実や児童生徒の読書活動の充実を図るために、学校司書を小中学校に配置してきた。

平成25年度は、モデル校9校（小学校8校、中学校1校）を指定し、4名の学校司書を配置した。平成26年度は、学校司書を23名に増員し、1人が3校程度の学校を巡回する「基幹校方式」により、64校（小学校57校、中学校7校）に配置した。平成27年度は、学校司書25名を78校（全小学校67校、中学校11校）に「基幹校方式」として配置した。

本事業を行うに当たっては、平地区の推進協力校を中心としながらも、25名の司書が互いの実践を持ち寄りアドバイスし合うなど連携・協力し、いわき市全体の学校図書館の活性化を目指して取り組んでいくこととした。

学校司書の業務

学校司書の主な業務は次の2点である。

1 児童生徒が親しみやすい学校図書館の構築

- ・ 校長の方針に基づき司書教諭の企画のもと、図書資料の収集や展示、館内の掲示物の作成及びコンピュータを活用した蔵書管理などを学校司書が行い、児童生徒に親しみやすい環境整備を進める。
- ・ 学校司書が主体となり、「図書だより」を発行し、児童生徒の読書の質を高める。

2 授業への支援の実施

- ・ 教員や児童生徒への図書資料の提供を行ったり、調べ学習の際にアドバイスを行ったりするなど、担任と学校司書との連携により、児童生徒の学習の理解を深める。
- ・ 読み聞かせやブックトークを効果的に行うことにより、児童生徒の学習意欲を高め、主体的な読書活動につなげる。

いわき市教育委員会の取組

本事業を行うに当たり、次の3つの課題が考えられた。

1 学校司書の資格（資質・能力）と経験について

学校司書 25 名中、司書の有資格者はわずか 1 名である。また、今年度新たに採用した学校司書も多い。資格も経験も年齢も異なる多様な学校司書が混在しており、おのおののニーズに合わせた研修にしていく必要がある。

2 学級担任、司書教諭、学校司書等との連携について

昨年度までの取組から、各学校共通の課題として「読書センター」としての機能の更なる向上とともに、「学習・情報センター」として効果的に学校図書館を活用していくための学級担任、司書教諭、学校司書、図書ボランティアの連携の在り方が挙げられた。

学校司書は毎日同じ学校に勤務している状況ではないこと、また、勤務時間も短い非常勤という勤務形態であることから、連携を図るための時間の確保とともに、業務内容に困ったときの学校内での相談体制も確立していく必要がある。

3 授業への支援の在り方について

今年度は、学校司書を配置して 3 年目を迎え、学校司書が授業に関する資料の収集、提供を行うことはもとより、様々なネットワークを生かし、各教科等で学校司書が本を通して授業づくりに関わっていくことが必要である。

これらの課題解決に向けて、市教育委員会では、研修の充実と各学校の取組の発信に重点を置いて取り組んだ。

研修を充実させることで、学校司書の資質・能力を向上させるとともに、互いの取組の情報交換を通して、教職員との連携の在り方や授業支援に関する効果的な取組について学び、自校に生かせるようにした。

また、各学校の取組を市内の教職員、保護者、市民等へ発信することにより、他校の取組を自校に生かすとともに、より一層、学校、家庭、地域が連携した読書活動の充実を図る。

学校司書研修の充実

○ 全体研修 16回

- ・ 総合図書館の協力を得たり、外部講師を招聘したりするなど研修内容を工夫することで、各司書の能力を高めた。また、各校の取組を紹介し合う情報交換の場を多く設けることで、司書教諭等とのよりよい連携の在り方について学び、各校で工夫して取り組むことができた。
- ・ 教職員との合同の研修も行い、学校司書だけでなく、学校全体で「機能的な学校図書館を構築していこう」という意識を高めた。

～研修の内容～

☆ 年度当初の研修

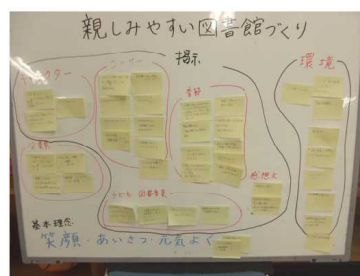
各学校での勤務開始日を4月9日とし、その前に2日の研修日を設け、学校司書としての心構えや、すぐに実務に取り組めるような研修を行った。

主な研修の内容

- ・ 守秘義務などの学校で勤務することの注意点や学校司書の役割
- ・ 昨年度の取組の発表
- ・ 各学校の取組状況の確認と仕事の引き継ぎ
- ・ 図書のバーコード化やコンピュータによる蔵書管理の仕方
- ・ KJ法による話し合い

「親しみやすい学校図書館を作るためにはどうすればよいか」

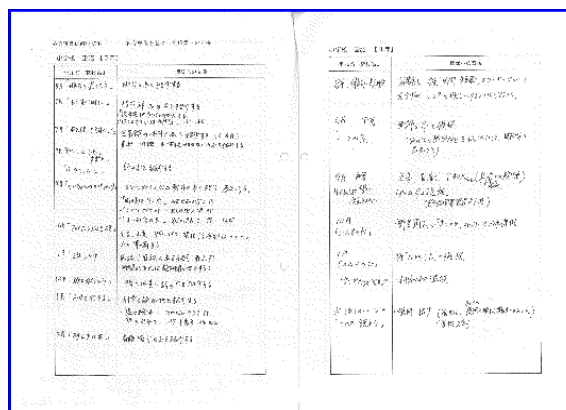
「児童生徒を惹きつける図書だよりの作成」



【KJ法による話し合い】

5月には、より積極的な授業への支援を行うため、各学校の教育課程を持ち寄り、各学年の単元において、どんな支援ができるかを考え、冊子を作成した。

時間の都合上、「国語科」と「行事」への関わりについてのみの作成であったが、冊子をつくることにより、計画的に授業への支援の準備ができ、授業等への関わり方について理解を深めた。



【学校司書が作成した冊子】

☆ 年間を通した学校司書の資質を高めるための研修の実施

年間を通して、学校司書の資質・能力を高めるための研修を計画的に実施した。研修においては、講義ばかりではなく、実際の掲示物や図書だよりを持ち寄り、互いにアドバイスしたり、実際の活動において工夫した点や悩みなどをグループで話し合ったりする時間を多く設けた。

主な研修の内容

- ・ 読書相談とレファレンス
- ・ 図書委員会との連携
- ・ 新聞・パンフレットの保管・整理
- ・ 調査と統計
- ・ 司書教諭、図書ボランティアとの関わり
- ・ 集会、行事への関わり
- ・ 特別支援を要する児童生徒への関わり



【情報交換の様子】

☆ いわき総合図書館との連携による研修

当センターにおける研修以外にも、いわき市総合図書館にもご協力いただき、研修を進めてきた。

- ・ 5月…団体貸出や公立図書館利用の仕方について
- ・ 7月…本の修理について

本を修理するためには、本の構造を理解しなくてはならないということで、まずは、午前中いっぱいかけて、自分で本の制作を行った。その上で、午後は、各学校の破損した本を修理した。修理のポイントを学ぶことで、各学校でも生かせるようにした。

- ・ 8月…学校図書館づくり（分類・配架の工夫について）
- ・ 10月…読み聞かせについて

図書館の方に、紙芝居、絵本、大型絵本、エプロンシアター、パネルシアター等の読み聞かせのポイントを実演を基に学び、実際に学校司書も読み聞かせを行いアドバイスをいただいた。

☆ 外部講師による研修

児童文学評論家の赤木かん子氏をお招きし、2時間の講義を3日行った。その内の1回は、教職員との合同で行った。赤木氏からは、学校図書館づくりの基本や本の分類、調べ学習等についてご講義いただいた。

○ 自主研修 8回

昨年度の反省から、「公立図書館との連携を図りたくても、学校司書が公立図書館に行く手段がない」という実態があった。そこで、公立図書館など学校外に出ることができるように8回の自主研修を設けた。

自主研修では、公立図書館だけではなく、近隣の学校図書館を視察したり、講演会等に参加したりするなど学校の実態に応じて活用した。

各学校の取組の発信

○ 学校司書活動報告会「未来をひらく学校図書館」の開催

11月13日（金）にいわき市文化センター大ホールを会場に開催した。教職員、保護者、市民の方等151名が参加し、推進協力校を中心に各校の取組を発表した。

発表では、校長、研修主任、学校司書、さらには児童からと様々な立場から学校図書館の充実について発表を行った。

最後には、赤木かん子氏による講評もいただいた。

また、大ホール前には、25名の各司書の取組を、それぞれ模造紙1枚にまとめ掲示した。

参加した教職員からは「優れた実践を自校の実態に応じて取り入れたい」、保護者や市民の方からは「学校図書館の様子や学校司書の活動の様子を詳しく知ることができた」などの感想が数多く寄せられた。



【大ホール前の掲示物】

○ 「ふくろう図書だより」の作成・配布

各学校での取組をA4版4枚にまとめた「ふくろう図書だより」を作成し、各学校に配布した。



学校図書館支援センター
ふくろう図書だより

発行 第22号 H28.2.19
学校図書館支援センター
(学校図書館センター内)
事務局：学校司書課

いわき市では、平成25年度より、学校図書館を配置することにより、学校図書館の機能を向上させ、児童生徒の読書の質を高める活動の充実を図っています。
今年度は、25名の学校司書を各小学校・中学校1校に配置しました。11月には、学校図書館活動報告会「未来をひらく学校図書館」を開催し、各学校における取組の様子をお伝えしました。本号では、学校司書が各学校において工夫して取り組んだ様子をお伝えします。今後の学校図書館の活用や学校図書館の充実の参考にしてください。

学校図書館活動（田人小・中）

田人地区では、分科授業の1科別教室が設置され、専任司書が担任、専任司書が担任の専任司書担任型の「小・中一貫教育推進校」としてスタートしました。
中学校の読書に力を入れるため、25教室分の読書机を学校図書館にしました。その一角に、コンピュータ室（小学生用12台、中学生用11台）が併設されました。
専任となった学校司書は、その専任力と知識を、教職員、学校司書、児童生徒、市教委、保護者ボランティアで協力して行いました。

各中学校の取組

それぞれの中学校で、生徒が読書に親しめるような取組を行っています。

- ・読書ノート（平三中）
生徒が読んだ本の感想、おすすめ本について記録したノートを、図書教員または学校司書がチェックしコメントしています。
- ・リクエストボックス（豊中）
生徒からのリクエストに対し、選書を書いて掲示しています。選書の参考にしています。
- ・図書委員会、先生方のおすすめの本（豊中）
おすすめ本の掲示をしています。
- ・読書イベントの開催（佐野中）
生徒が読んだページ数に似しシールを貼り、それを表にし、掲示しています。
- ・定期読書の読み出し（田人中、豊中、内郷三中）
定期的に学校にある貸出図書の入替えをしています。
- ・スタンプラリー（内郷三中）
読んだ本にスタンプを押すことで、生徒の読書意欲を高めています。

スタンプラリーの用紙
読書ノート（平三中）
リクエストBOX
図書委員会おすすめの本（豊中）

学校司書がすすめる本

3～6年生を対象に、教科書に出てくる本を、『学校司書がすすめる本』とし、3・4年生は20冊、5・6年生は10冊読むという取り組みをしています。
感想を書いてもらい、選んだ児童には、手作りの賞状付きミニノートをプレゼントしています。プレゼントが読みとなり、児童は楽しみながら読書をしています。
また、読書量の増加とともに、図書館の利用も増え、学校図書とのコミュニケーションの機会もとれています。

電子化の活用（緑小）

読書の電子管理により、読書の貸出・返却の管理をはじめ、学年および学級単位の読書記録や、利用状況、書籍別のランキング統計なども抽出することが出来ます。
読書意欲の向上に繋げるため、抽出されたデータは、月1回発行している「図書だより」に掲載しています。図書館にも掲示することで、貸し出されている様々な本を知る事ができ、読書の幅が広がるよう取り組んでいます。
また、個人の読書記録としても活用できるので、過去に読んだ本を調べることができ、書棚を駆け回らなくても、電子化は大変有効です。

掲示物の活用（鹿本三小）

廊下にある掲示板を利用して、季節ごとに読書記録を貼り、新着図書紹介の掲示をしたりしています。廊下を通るたびに掲示が目を見て、図書館に興味を持って児童が入室してくれればという思いがあり、掲示を入れています。
図書館内の仕事中、廊下の読書や新着図書紹介を見て話している児童の音が聞こえてくることも多く、これからはぜひ継続していきたいと考えています。

読書記録：Before After（三和小）

三和小は、今年度5つの小学校が統合した学校です。各学校の本を兼ね、9月に図書館のリニューアルを行いました。リニューアルにあたっては、喜多市や福島市の全国学校図書館協議会の方にご指導いただき、さらに、多くのボランティアの方々をお招きして実施しました。
リニューアル作業には、4～6年生の児童も参加しました。作業と同時に「NDC」のしくみについて学ぶことができ、調べ学習の機会、自分で目的の本を探すことができるようになりました。

おすすめ本紹介（小玉小）

小玉小の先生および保護者が選んだ100冊の本を、こども Select100の紹介をしています。
学年で読んでおきたい本として、1～2年生（30冊）、3～4年生（37冊）、5～6年生（33冊）の中から、定期的に各2冊（計6冊）を並び、あらゆる子どもに紹介を希望しています。
また、児童が読後にチャレンジできるように、図書館ボランティアと協力しながら、冊子や特別シールなどの活用をすすめています。

新聞の活用について（夕見が丘小）

新聞に「朝日小学生新聞」（土曜のみ）と「読売 KoDoMo 新聞」を置いてあります。
古くなった新聞は、気になる記事をストックし、読書館の廊下に貼り出しています。少しでも児童が新聞に関心を持ってほしいことを願っています。

【「ふくろう図書だより」の一部】

平第一小学校

平一小的図書館教育について

1 あげつちミニ読書集会

高学年が読み聞かせをすることにより、下級生に合わせて本の内容を考えて選定したり、聞きやすい読み方を考えたりするようになるなど、相手を意識して表現する力をつける機会となった。また、下級生にとっては本への興味・関心を引き出す機会になっている。



2 夏休み・冬休みの親子読書紹介

長期休業日を生かして、家庭での読書習慣を促すとともに、家庭で読書をする機会を設ける。親が子どもへ読み聞かせをしたり、高学年になると逆に子どもが親へ読み聞かせをしたりと工夫した読書の仕方が見られる。

3 読書紹介

先生方の名前や学年を記入したボールを引き、毎週木曜日のお昼の放送でテレビ放送することで、新たな本への興味・関心を引き出すことができた。なお、紹介した本は、ふくろう館前の掲示板に展示し、児童がいつでも見ることができるようにしている。



4 季節の読書紹介

季節にあった掲示を考え、カードに読書紹介をすることで表現する機会をつくる。また、友達や他学年の紹介を読むことにより本への関心を高めることができた。

5 図書委員会の活用

図書館を多く活用してもらうための工夫として、図書館クイズやポスター作りなどを行ってきた。本が好きな児童が多く集まっていることもあり、読んだことのある本の紹介などを進んですることができた。低学年を中心に、図書室の利用率が上がるなどの成果が見られた。

6 教職員による環境整備

ふくろう館前のシンボルツリーや、ふれあいギャラリーの掲示の模様替えを全職員で行った。毎月に「平和」「スポーツ」などの時期に合わせたテーマを設定し、そのテーマに関連のある本を展示した。実際に展示されている本を借りている児童も見られ、子どもたちの興味・関心を高めることに役立った。



【シンボルツリー】



【ふれあいギャラリー】



7 「あげつちの森図書館便り」の発行

学期1回程度、図書館便りを発行することにより、家庭での読書活動の啓発を行っている。学校での読書活動の様子を知らせたり、本の紹介などをしたりすることで家庭でも読書をするよう呼びかけている。

8 保護者や地域の方による読み聞かせボランティア

毎月定期的に読み聞かせを行っていただいている読み聞かせボランティア「ポケットさん」や低学年に読み聞かせを行う教養委員など保護者や地域の方のボランティアがいる。その都度、時期に合わせた本を選んだり影絵などの工夫を凝らした内容になったりしていて、児童は毎回とても楽しみにしている。



9 図書館ボランティアによる図書館の環境整備

図書のバーコード登録や新書の配架で協力いただいている。また、環境掲示や分類の整理なども積極的に取り組んでもらっている。児童は明るい図書館へ足を運び、学習や読書活動に取り組むことができる。



10 学校司書との連携

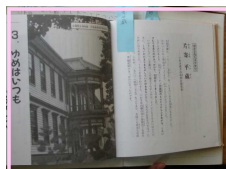
本校では週に2回、学校司書が勤務している。専門的な知識を生かし、図書資料のレファレンスをしたり、新聞等の資料のファイリングなどを行ったりしている。また、単元の関連図書を事前に準備してもらうことにより、並行読書などを行うことができ、学習に役立った。

平第三小学校

学校司書を活用した学校図書館の環境整備や授業支援

1 環境整備

- ①書架の整理(絵本棚の掲示・装飾)
- ②館内閲覧・貸し出し返却処理補助
- ③バーコード未処理の本と新刊本のPC入力
- ④新刊本のラミネート装備と本の補修
- ⑤館内外の装飾と階段踊り場の掲示
- ⑥図書ボランティアとの読み聞かせ
- ⑦小学生新聞の掲示と整理
- ⑧図書館入り口の各種資料展示
- ⑨図書館だより発行
- ⑩公共図書館との連携
- ⑪本の紹介
- ⑫図書資料の分類
- ⑬図書館利用指導
- ⑭図書のレファレンス・サービス
- ⑮読書相談
- ⑯児童図書委員会活動補助
- ⑰ふくろう図書だより掲示



2 授業支援

教科等名	具体的な支援内容
国語	1年「くちばし」「じどうしゃくらべ」「むかしばなしがいっぱい」の単元で、関連資料を担任へレファレンス、自館・総合図書館より貸し出し支援を行った。
	3年「すがたを変える大豆」の単元で、自館の図書を準備し、支援を行った。
	4年「ごんぎつね」の単元で、自館の狐が出てくる物語を準備し、学年廊下へ別置した。
	5年「生き物は円柱形」「大造じいさんとガン」の単元で、自館・総合図書館の関連図書を準備し、支援を行った。
	6年「平和のとりでを築く」「やまなし」の単元で、自館・総合図書館の関連図書を準備し、支援を行った。
特別支援学級で、授業参観で使用する、自館の文字のない絵本を準備し、支援を行った。	
社会	4年「きょう土をひらく」の単元で、いわき市の先人について調べ学習を行った際、自館と総合図書館・内郷図書館のいわき市の偉人に関する図書を提供し、実際の授業にも参加し、資料選びの支援を行った。
	6年の歴史学習で、調べ学習の際のレファレンスを行った。
理科	5年「魚のたんじょう」「人のたんじょう」の単元で、自館・総合図書館の関係図書を準備した。
	6年「地球環境」「共生・共存」「大地のつくり」に係る自館・総合図書館の図書を準備した。
	特別支援学級で、自館・総合図書館の環境破壊の関連図書を準備し、支援した。
総合的な学習の時間	6年「私たちの町」の調べ学習で、いわき市の水産業についてどんな本でどのように調べたらよいか児童へ助言し、作品作りの支援をした。



平第五小学校

本は心の栄養、豊かな心を育む 平五小の読書教育

本校では、学校司書が配置された3年前から、本との出会いを通して読書習慣を身につけさせる読書教育に力を入れています。本を読むことによって、子どもたちにとって新しい世界が広がり、経験したことのない世界に浸り、疑似体験をすることができるからです。また、集中力や想像力が広がり、本校の教育目標にも掲げられている「やさしい子」「考える子」などにつながると考えています。

学校司書



身近な図書館にするため、学習での図書館ガイドやレファレンスサービスなどを行います。

図書館ボランティア



本の修理講座に参加したり、読み聞かせや図書室の掲示作りをしたりしています。

読書タイム



毎週月曜日と木曜日の朝の時間、児童は黙々と読書活動を行います。

ビブリオバトル



一番紹介したい本を持ち寄り、みんなでクラスのチャンプ本を決めます。

図書委員会



本の貸し出しや下学年への読み聞かせ、読書クイズを全校生へ出すなどの活動をしています。

先生方の読み聞かせ



クラスの子たちへの読み聞かせや7学年の先生方の放送劇も楽しみです。

(ALTマイク先生の英語読み聞かせ)

児童の育ち

読書環境が豊かになると同時に、本を身近に感じることができるようになりました。昨年度よりも学校図書館の活用率が上がり、ますます本好きの児童が増えています。

平第三中学校

学校図書館の取組

1 環境整備

1学期から2学期にかけて、本棚の整理を行いました。古い本を取り除き、「日本十進分類法（NDC）」の順番に並び替え、分類や作者の名前の見出しを入れていきます。



2 情報発信

ひとりでも多くの生徒に図書室や本に興味を持ってもらえるように、様々な形の情報発信を行いました。

- ・特集コーナー（毎月入れ替え）
- ・廊下の掲示板などでの本の紹介
- ・図書だより（月1回発行）など



3 読書ノート-1

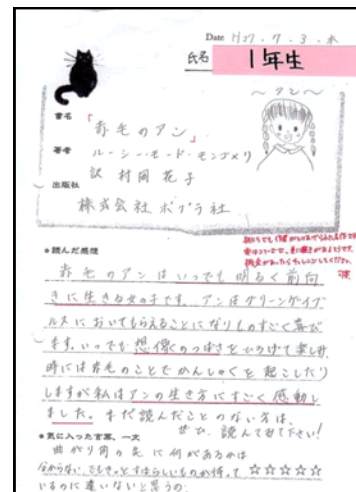
「読書ノート」は今年度からの取り組みです。

平成27年度「学校図書館の活性化実践事業」第1回全体会議で杉本直美先生が紹介されていたものを、平第三中学校の生徒向けにアレンジして行っています。

この読書ノートは、「本の感想を中心に、個人の読書生活を記録する」B5サイズのシートです。各クラスで、週ごとに交代で数人の生徒が記入します。

（ひとり1枚 週2～4人が目標）

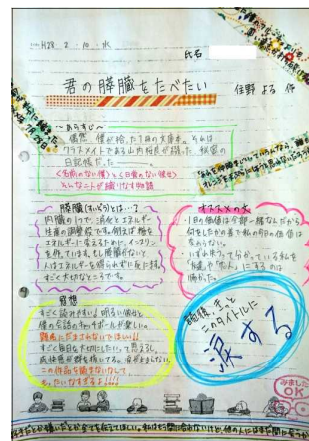
これをクラスごとに1冊のファイルにまとめ、毎週火曜日に提出します。提出されたものは司書教諭または司書がコメントして返却します。



読書ノート-2

シートの形式には、いくつかの種類があります。本の感想の他に「読書あれこれ」という欄があるものには、「気になる作家」や「図書館に行ったレポート」など、感想以外の読書に関することを書くことができます。

また、ノートの罫線のない形式は、自分で自由にレイアウトを決めることができます。この形式では、色ペンやマスキングテープなどを使った、アイデアあふれるノートが提出されました。



2月には、クラスの代表を選び、掲示しました。「作品が好きな気持ちが伝わってくる」「字が丁寧で、わかりやすい」など、図書委員の解説もつきました。

成果と課題

推進協力校を中心に、学校図書館の機能充実のための学校司書の効果的な活用の在り方について実践検討してきた。

推進協力校に限らず、いわき市全体としての成果と課題を次のように捉え、次年度以降の取組に生かしていきたいと考える。

- (1) 小学校においては、児童に親しみやすい学校図書館の環境整備が進み、環境整備における学校司書の能力も高まってきた。
環境整備については、経験のある学校司書が新任の学校司書へ教えるシステムを作っていくとともに、今後は、さらに幅広い教科等への積極的な授業支援を進めていきたい。そのためには、各学校において、全職員共通理解のもと、司書教諭と連携して進められる校内体制の整備が必要である。
- (2) 来年度は、小中学校の全校配置を行う予定である。新しく配置される学校においては、今年度の成果を生かし、蔵書の電子管理などの環境整備から行い、徐々に、授業への支援も進めていきたい。
- (3) 学校司書の資質・能力の向上を図るためにも計画的な研修を実施することは重要である。その際、経験年数に応じた研修内容や研修の方法等を工夫していく必要がある。また、長期の人材確保の観点からも雇用の在り方をさらに検討する必要がある。
- (4) 学校司書が増加することは、教育課程上、同じ本の貸出し希望が総合図書館の団体貸出において集中することが予想される。研修内容を含め、総合図書館との連携の在り方について検討する必要がある。

